

2020年度（第33期）北里大学学術奨励研究計画の募集について

北里大学は創立25周年記念事業の一環として、昭和62年度に北里学園学術振興基金（平成8年度から北里大学研究振興基金に分離改称）を設定し、昭和63年度からこの基金の果実をもって北里大学学術奨励研究資金による助成を開始いたしました。

この助成は、若手研究者の研究活動に対し実施するものです。このことにより本大学の教育研究活動がより一層活発となれば幸いです。

つきましては、2020年度（第33期）北里大学学術奨励研究計画の募集をいたしますので、ご希望の方は下記により研究計画書をご提出ください。

記

I. 応募資格

- 2020年度末（2021年3月31日現在）において40歳未満の教授を除く教員（昭和56年4月1日以降に生まれた者）及び文部科学省科学研究費助成事業の応募資格を有する専任（嘱託を含む）の研究員等（以下「教員等」という）。なお、共同研究者については職位及び年齢に制限はありません。また共同研究者には兼任教員も加わることができます。
- 2020年度文部科学省科学研究費助成事業もしくはこれに準ずるものに研究代表者として応募した者、又は過年度に応募し2020年度も継続予定の者。
- 次に掲げる項目の一に該当する者は応募資格がありません。
 - 過去にこの助成を受けた者で、所定の期日までに研究活動報告書等を提出していない者。
 - 過去にこの助成を受けた者で、研究成果を所定の期日までに印刷公表していない者。但し、印刷公表後は応募資格を有する。
 - 直近の3年間連続でこの助成を受けた者。

II. 申請手続き

募集期間 2019年11月1日（金）～11月29日（金）

提出先 応募者は所属する部門（学部等）の事務室へ研究計画書をご提出ください。
なお、医学部の助教（研究員、病棟医）は大学病院・大学東病院事務部ではなく、医学部事務室へご提出ください。

III. 決定通知

2020年4月30日までに所属長に通知します。

IV. 申請に際しての留意事項

- 募集、審査は次の2つに区分して取り扱います。
 - 萌芽的研究
意外性のある着想に基づく芽生え期の研究であり、新しい研究分野の発展につながるような成果又はその契機になることが期待できるもの。
 - 一般研究
その研究が、学術的又は社会的要請に応えることが期待できるもの。
- 教員等が申請できる件数は、萌芽的研究又は一般研究のどちらか1件とします。
- この助成はあくまでも活動経費の一部を補填するものですので、主たるものは学部等予算、外部からの助成等による必要があります。
- 1件あたりの助成額は50万円を超えないものとします。
- 研究期間（助成期間）は決定通知日から2021年3月31日までとします。

V. 研究計画書作成上の注意

次の各項にご注意ください。

1. 研究計画書（助成金申請書）は、本学のホームページからダウンロードして作成すること。（手書きや切り貼りしたものは不可とする。）
なお、カラーでの提出も可とするが、応募書類はモノクロ印刷し評価者に送付するため印刷した際、内容が不鮮明とならないよう、作成にあたっては留意すること。
また、必ず片面印刷とすること。
2. 研究計画書は、研究内容により様式1（萌芽的研究）又は様式2（一般研究）を使用すること。
3. 「助成金交付申請額」欄は、50万円以下とし、千円未満は切り捨てとする。
4. 「職位」欄は、該当のものを○で囲むこと。
5. 「共同研究者」欄は、本研究課題を文部科学省科学研究費助成事業等に申請している場合は、本学の共同研究者氏名のみを記入すること。
6. 「研究課題」欄は、一般的、抽象的な表現とせず、具体的な研究内容を40字程度で簡潔に表すこと。また、当該研究課題が基礎研究か応用研究かのいずれに属するのかを区分し、該当のものを○で囲むこと。
7. ①「研究目的」欄は枠を広げる等、記載欄の変更は厳禁とする。
②「研究の萌芽性（独創性）」欄、「期待される効果」欄、「研究の計画とその方法」欄は必要に応じて上下に記載欄を広げる（又は狭める）変更のみ可とするが、3つの欄をまとめて2頁を限度とする。
③各欄には、それぞれに記載している指示に従って記入すること。文字の大きさは10.5pt以上とすること。
④当該研究分野に相応した語句の使用、文章の構成・表現方法等に留意し、研究内容等については審査委員にわかりやすく記載すること。
8. 「所属部門長」欄は、所属する部門（学部等）の学部長、一般教育部長、学院長及び研究所長とする。
9. 一般研究（様式2）の「研究業績」欄は、次のとおりとする。
①これまでに発表した論文、著書、招待講演、学会発表のうち、重要なもの10件を限度として選定し、記載すること。
②「発表者氏名」欄は、ファーストオーサーを記入し、発表者が複数にわたる場合は、発表者数と申請者本人が掲載されている順番をカッコ内に記入すること。
③「発表学会誌等の名称」欄については、学会発表の場合はカッコ内に○印を付すこと。
なお、本学が開催している学内研究集会での発表も記載することができる。
④当該研究課題に関連する業績には○印を付すこと。
⑤論文等の業績には査読の有無及び掲載誌の最新のインパクトファクター（IF値）も記入すること。
10. 「学外研究助成金への応募、採択状況」欄は、最近3カ年の他機関への応募・採択状況及び申請額又は交付額を記入すること。
11. 「これまでの本資金の採択実績」欄は、過去に代表研究者として本資金に採択された研究課題がある場合のみ記入すること。
12. 「本資金による採択課題の研究成果印刷公表実績」欄は、「これまでの本資金の採択実績」欄で『研究成果印刷公表』が“済”のものがある場合に記入すること。ただし、「研究業績」欄に同じものを記入している場合は『学術論文等名』に「研究業績」欄の何段目に記載した旨を記入することで、内容を省略することができる。
13. 「助成金の対象経費の使用内訳」欄は、費目（物品費、旅費交通費、謝金、その他）の品目・事項ごとに記入すること。「本研究全体経費に占める割合」は、本助成金が本研究全体経費に占める割合(%)を記入すること。

VI. 研究成果の印刷公表について

1. この研究助成を受けた者は、その成果を原則として研究終了後（助成期間終了後）2年以内に、この助成による旨を明記し、学術雑誌等に公表しなければなりません。
2. 研究成果については、本学が例年開催している学内研究集会（バイオサイエンスフォーラム・微生物アカデミー・北里化学シンポジウム）で積極的に発表してください。

※本資金名称（研究成果を公表する際には下記の名称をご使用ください。）

北里大学学術奨励資金

Kitasato University Research Grant for Young Researchers

以 上

お問い合わせ先 学部等事務室 又は 研究支援センター事務室（042-778-9712）